

国立科学博物館 産業技術史講座

塗料 技術発展の歩み

塗料はモノの表面に薄膜（塗膜）を形成させて、モノを保護したり美観を創出し、またいろいろな機能を付与させています。今日、私たちは塗膜に囲まれて生活をしている、といっても過言ではありません。

塗料の歴史は古く、そのルーツは紀元前1万年前にも遡ります。日本でも縄文前期、約7000年前のモノとされる漆塗りの櫛が出土しています。古くは天然素材を利用して作られた塗料も、今日では科学技術の発展に伴って、合成樹脂や合成顔料を駆使して自動車、船、高層建築、大型構造物、家電製品など、近代社会のあらゆる分野に塗料が使われるようになりました。日本で国産塗料が作られるようになったのは1881年、また1885年日本に特許制度が制定されると、その第1号は塗料が取得しました。

科学技術の発展によって塗料がどのように進化し、近代社会構築にどのように関わってきたかを紹介致します。

日 時：平成22年6月12日(土) 14時00分～16時00分

会 場：国立科学博物館（上野） 地球館 3階講義室

講 師：大沼清利（前・産業技術史資料情報センター・主任調査員）

募 集：40名（高校生以上一般向）

入館にあたり、通常入館料

一般・大学生 600円。

高校生・満65歳以上の方は無料（年齢が分かる証明書等を提示）

が必要です。

申込方法：往復はがき、もしくは、下記ウェブサイトから

平成22年5月22日締切（消印有効）

国立科学博物館 学習企画・調整課 学習支援事業担当

住所：〒110-8718 台東区上野公園7-20

電話：03-5814-9888

申込ウェブサイト：<http://sts.kahaku.go.jp/diversity/lecture/index.php>

往復はがきの場合(1)6月12日：産業技術史講座、(2)参加者氏名、(3)住所（返信用にも）、(4)電話番号、(5)年齢、(6)職業又は学年、を記入。応募者多数の場合は抽選。グループで参加希望の場合は、参加者全員の氏名・年齢を記入。

関連ホームページ 「国立科学博物館—産業技術史資料情報センター—」

<http://sts.kahaku.go.jp/>

平成22年度 産業技術史講座のご案内

- 9月11日(土) 14:00～16:00 (仮)高炉技術開発の歴史 彼島 秀雄
- 12月11日(土) 14:00～16:00 (仮)プレハブ技術開発の歴史 東郷 武
- 3月12日(土) 14:00～16:00 (仮)自動車車体技術開発の歴史 山口 節治